

関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会における
クイックモッパー（チームモッパー）の導入について

関東私立高等学校バレーボール連盟

1. 目的

選手の安全とスムーズなゲームの進行を確保するため、決勝戦も含めた全試合で、チームによるクイックモッパーを採用する。

2. 配置および任務

チームは最大2名のクイックモッパーをベンチの両サイドに配置できる。配置する場合、服装はユニフォーム以外の統一されたものとし、自チームが用意したタオルを用いてワイピングを行う。クイックモッパーは低い姿勢で待機し、ラリー間にウェットスポットを素早く拭き、拭いた後は必ず定位置に戻る。

3. 認められる行為

- ・公式練習前のコート練習に参加すること。
- ・タイムアウト（給水のタイムアウト含む）時やセット間、およびレフェリーからの指示があった際に、柄つきモップを使用してワイピングを行うこと。
- ・コートチェンジの際、ベンチ移動をサポートすること。

4. 認められない行為

- ・公式練習に参加すること。
- ・声を出したり拍手を送ったりするなど、チームの応援に参加すること。
- ・チームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすること。

5. その他

- ・クイックモッパーは、プロトコール開始後、指定された場所に位置すること。
- ・部員数等の理由によりクイックモッパーを配置できない場合、控えの選手が兼務することも可能とする。ただし、その場合、自チームで用意したビブス（できれば無地のもの）を着用する。ビブスを着用している間は、クイックモッパーとしての任務（上記3・4を適用）となり、プレーヤーとしてコートに入る場合はビブスを脱ぐ。
- ・クイックモッパーがいない場合は、ラリー間はコート上の選手がワイピングを行う。
なお、クイックモッパーがいる場合でも、コート上の選手も自分のタオルを用いてワイピングすることが望ましい。
- ・監督や選手は、モッパーにウェットスポットを拭くことを要求したり、ワイピング中に指示したりする権利はない。このような行為によって試合を遅らせた場合、遅延行為の罰則を受けることがある。

以 上